

# 健康通信

## 薬と医薬品情報



薬局長  
戸田 康裕

### 薬を使うときに大切なことは？

患者さんから「薬を使うときに大切なことは？」という質問をよくお受けします。一言では、「よく理解して使うこと」とお答えしています。よく理解して使うこととは、「何のために使うのか？」(目的)、「からだにどのような変化をもたらすのか？」(作用)、複数の薬が処方されている場合は「それぞれの薬の関係はどのようなものか？」(組み合わせの意味)を知ることです。

薬にとって目的と作用は最も基本的な情報です。例えば、糖尿病の患

されることはよく知られたことですし、痛風の患者さんが尿酸値を下げるために服用する尿酸排泄促進剤と尿をアルカリ化させる薬は、排泄された尿酸が酸性尿内で析出して結石となることを予防するための組み合わせです。

### 医薬品情報

薬の理解をさらに深めるためには、起こる可能性のある「副作用」や「飲み合わせ」(薬物相互作用)を知ることも大切です。

「副作用」とはからだへの期待外の変化をいい、「飲み合わせ」と併せて事前に知っておくことで安心して薬を使用することができます。

近年ではこれらの情報を「医薬品情報提供書」として患者さんにお渡しし、投薬時には必要に応じて薬剤師から説明することが一般的となり



ました。薬について知りたいことがあれば薬剤師にお気軽にご相談ください。

### お薬手帳

医薬品情報提供書とともに「お薬手帳」として患者さんご自身が薬の処方記録(薬歴)を持つことも大切なことです。

特に災害時での有用性は、5年前の東日本大震災において実証されています。

現在では多くの薬局で処方内容を記したシールを作成し、手帳に貼付することが一般的ですが、お薬手帳を薬歴手帳として利用するだけでなく、服用中に「何か変だな？」と気づいたことや実際の服用状況を患者さんご自身に記入していただくことで、服薬日記としても利用することをおすすめします。

### おわりに

医薬品には必ず情報が付随しています。薬を使用する時には、これらの情報をよく理解することを心がけましょう。

者さんが服用する薬のひとつに血糖の急激な上昇を抑える薬があります。これは「糖類が単糖類になって吸収されるのを抑えることを目的としており、二糖類を単糖類に分解する酵素の働きを弱める作用を持っています。服薬指示の「食直前」は、食事の時に最大の作用を発揮させるために最適な用法であり、作用が理解できていればこのような薬を食後に服用しても効果は期待できないことがわかります。

また、薬の組み合わせでは消炎鎮痛剤と胃粘膜保護剤が同時に処方